製品安全データーシート
(EC) 1907/2006

印刷日: 2025.03.13　　バージョン番号: 5.01　　改訂日: 2025.03.13

*

1 化学物質等及び会社情報

製品識別子 ノイブルグシャリアース

商品名: **SILLITIN V 85**
SILLITIN V 88
SILLITIN N 75
SILLITIN N 85 / SILLITIN N 85 puriss
SILLITIN N 87
SILLITIN Z 86 / SILLITIN Z 86 puriss
SILLITIN Z 89 / SILLITIN Z 89 puriss
SILLITIN P 87 / SILLITIN P 87 puriss

CAS 番号:
1020665-14-8
ナノフォーム
REACH 規則 (EC) 1907/2006 によると、この製品は「ナノフォーム」とは定義されていません。
該当純物質または混合物の関連特定用途及び使用禁止用途
成分の利用/調合
エラストマー、プラ
スチック、塗料、ラッカー、接着剤、磨き剤、手入れ剤、金属電極そして建築と化学工業で機能的充填剤として用いられています。

安全データシートの供給元の詳細情報
製造者/納入者:
HOFFMANN MINERAL GmbH
Münchener Straße 75
D - 86633 Neuburg/Donau
Tel.: +49 (0) 8431 53-0
Fax: +49 (0) 8431 53-3 30
www.hoffmann-mineral.de

この他の情報問い合わせ先: info@hoffmann-mineral.com

緊急通報用電話番号:
+49 (0) 8431 53-0
(営業時間外の連絡先)

2 危険有害性の要約

純物質または混合物の分類
本化学物質はGHS(化学品の分類および表示に関する世界調和システム) により分類されていません。

ラベル要素
GHS ラベル要素 非該当
危険図表 非該当
表示語 非該当
危険文句 非該当
人と環境にとって特に危険なものに関する情報:
隠微晶質を有するケイ酸成分 (Kryp.KS) を吸引した場合、肺の中で繊維生成効果が生じることがあります。Kryp.KS-A粉塵濃度の高い (>0.10mg/m³) 空気を長期間吸入した場合、ケイ肺病につながる可能性があります。Kryp.KS - A粉塵を含む環境での作業は、始終管理されなくてはなりません。(-> 項目8参照)
その他の危険性
PBT(残留性、生物濃縮性、毒性物質)及びvPvB(高残留性、高生物濃縮性物質)アセスメント
PBT (残留性、生物濃縮性、毒性物質): 情報なし
vPvB (高残留性、高生物濃縮性物質): 情報なし

3 組成・成分情報

化学的特性: 化学物質
説明: 製品名SILLITINとSILLIKOLLOID とは、ノイブルグシリシャスアースです。
ノイブルグシリシャスアース、自然界で生まれた、非晶質のシリカと隠微晶質のシリカと層状のカオリナイトとの混合物です。CAS番号. 1020665-14-8
EINECS番号.: 310-127-6
CAS 番号表示
CAS: 1020665-14-8 ノイブルグシャリアー
ID 番号 EINECS: 310-127-6

(2ページに続く)

製品安全データーシート
(EC) 1907/2006

印刷日: 2025.03.13　バージョン番号: 5.01　改訂日: 2025.03.13

(1ページの続き)

EC 番号: 310-127-6
補足注意事項:
(鉱物組織)
7631-86-9 隠微晶質シリカ (A粉塵成分 < 0.1 質量分率)
7631-86-9 非晶質シリカ
1318-74-7 カオリナイト

4 応急措置

応急手当処置に関する説明
一般情報: 不安または症状がおありでしたら、医師の診断を受けてください。
吸い込んだ場合: 外気を送る、つらい場合には医師を呼ぶ
皮膚が触れた場合: 皮膚に影響があった場合、水および低刺激性の洗剤で該当箇所を洗浄してください。
眼に入った場合:
異物の影響で症状が生じる場合があります。
瞼を開けたまま、流水で何分間か眼をすすぎ、状態がよくならない場合には医者に相談する
飲み込んだ場合: 特別な措置は不要です。
医師への指示事項:
最も重要な急性及び慢性の症状及び影響
隠微晶質を有するケイ酸成分 (Kryp.KS) を吸引した場合、肺の中で繊維生成効果が生じることがあります。Kryp.KS-A粉塵濃度の高い (>0.10mg/m³) 空気を吸入した場合、ケイ肺病につながる可能性があります。

何らかの即時医療処置及び特別治療の必要性を示す兆候
患者の状態についての医師による診断に応じた治療。対症療法。

5 火災時の措置

消火剤
適切な消火剤: 周辺の状況に合わせた消火措置を取る
本化学物質または混合物から発生する特別な危険性 製品自体は燃えません。危険な分解生成物を放出しません。
消防士向けアドバイス
特別な保護装備:
通常の防火措置を講じてください。
危険領域に立ち入る際には、作業環境濃度に適した保護マスクを着用してください。
人の保護装備の情報に関しては 8 項を参照

6 漏出時の措置

個人的予防措置、保護具及び応急処置法
十分な換気を心がける
埃の発生を防ぐ
粉塵が多く発生する環境では保護マスクを着用してください。
環境関連予防措置: 特別な措置は不必要
封じ込め及び浄化のための方法及び材料:
乾いた状態で掃かないでください。製品を吸い取るためには、工業用バキュームクリーナー (最低粉塵クラスM) を使用するか、水で湿らせてから掃き集めてください。
処分の際には密閉可能な容器を使用してください。
他のセクションへの言及
安全な取り扱い方に関しては 7 項を参照
人の保護装備の情報に関しては 8 項を参照
廃棄処分に関しては 1 3 項参照

7 取扱い・保管上の注意

取り扱い方:
安全操作のための予防措置
ほこりがたたないようにする
埃が出た場合には吸い取る
換気が不十分な場合には呼吸保護マスク着用
裂けたり破れたりしないよう、袋やビッグバッグの扱いに注意してください。

(3ページに続く)

製品安全データーシート
(EC) 1907/2006

(2ページの続き)

必然的に発生するほこりは定期的に除去する
火災および爆発防止に関する注意事項: 特別な措置は必要ない

混融危険性を含めた安全貯蔵条件
保管:
保管スペースおよび容器に関する要求事項:
容器は密閉した状態に保つ
サイロに充填する際には、粉塵予防に注意してください。
同じ場所に保管する際の注意事項:
特別な措置は必要ない
現地で定められている規定に従ってください。
保管条件に関するその他の注意事項: 乾燥した状態で保管
特定の最終用途 追加的な関連情報は得られていません。

8 暴露防止及び保護措置

管理パラメーター
作業場において限界値の監視を要する成分:
Kryp.KS -A粉塵を含む環境で測定した隠微晶質シリカ成分の比率を0.10 mg/m³ (シフトの平均値)
以下の濃度に抑えることにより、従業員のケイ肺病の危険はほぼ皆無となります。
粉塵を含む環境での作業は、始終管理されなくてはなりません。EN 481およびTRGS 402 /BIA 8522 (FTIR)
の隠微晶の割合に基づく粉塵サンプリング

暴露管理
人的保護装備:
一般防止措置および衛生措置:
休憩の前、作業終了後には手を洗う
食物、飲み物、飼料からは遠ざける
作業中飲食しない
衣服の汚れを除去し、再使用の前に洗濯してください。
呼吸保護器具:
Kryp.KS-A粉塵が0.10 mg/m³以上の濃度の粉塵が生じる作業場では、粉塵マスク (FFP 2) を着用してください。
手の保護: 通常は不要です。
眼の保護: 側面に保護機能が付いた保護メガネ
周辺への曝露の制限と監視 特別な措置は不要です

9 物理的及び化学的性質

基本的な物理及び化学特性に関する情報	
一般指示事項	
外観	
形:	粉末
色:	白 / ベージュ
におい:	無臭
pH-値 (400 g/l) 約 20 °C:	5 - 9 (DIN ISO 787 / 9)
状態の変化	
融点/融解範囲:	> 1600 °C
沸点/沸点範囲:	情報なし
引火点:	情報なし
発火性 (個体、気体):	成分は発火性ではない
自然発火性:	使用できない
分解温度:	決まっていない.
自然発火性:	使用できない
爆発の危険:	プロダクトは爆発する危険はない
爆発限界:	
下限:	使用できない

(4ページに続く)

製品安全データーシート
(EC) 1907/2006

(3ページの続き)

上限:	使用できない
蒸気圧:	情報なし
密度 約 20 °C:	2.6 g/cm³ (DIN ISO 787 / 10)
蒸気密度	情報なし
気化速度	情報なし
以下成分における消和性/との混和性	
水:	非常に少ない。 DIN ISO 787 / 3
分配係数 (n-オクタノール/水):	決まっていない.
粘性:	
運動性:	情報なし
他の情報	追加的な関連情報は得られていません。

10 安定性及び反応性

反応性 不活性、無反応
化学的安定性 通常の条件下では安定。
危険反応の可能性 危険な反応は起きていない
避けるべき条件 項目7も参照してください。
不適合物質: 追加的な関連情報は得られていません。
危険な分解生成物: 危険な分解プロダクトはない

11 有害性情報

毒性学的影響に関する情報
急性毒性:
分類上の LD/LC50 値: 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。
初期刺激作用:

皮膚において: 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。

眼において: 刺激はない

感作作用: 感作作用はない
次の種類の潜在的な効果に対する情報

持続的な服用による毒性

胚細胞人工突然変異 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。

発癌物質 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。

呼吸時有毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。

特定臓器に有毒-一回露出 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。

特定臓器に有毒-複数露出
Kryp.KS-A粉塵濃度の高い (> 0.10 mg/m³) 空気を長期間吸入した場合、ケイ肺病につながる可能性があります。Kryp.KS-A粉塵濃度 (DIN EN 15051-3) が < 0.1 質量分率の場合、(EC)1272/2008規定に基づいた分類は不要です。

12 環境影響情報

毒性
一般情報 3の項目 .粗製/成分に関する情報で挙げられた成分は、鉱物学的にはシリカ・酸化物のグループに属し、地殻の頻繁な成分です。環境への悪影響は知られていないし、あるとも考えられません。
水生生物に対する毒性: 追加的な関連情報は得られていません。
持続性及び分解性 追加的な関連情報は得られていません。
生体内蓄積能 なし (シリカ成分をフレーム構造に蓄積させる有機体があります)
土壌内移動性 追加的な関連情報は得られていません。

(5ページに続く)

製品安全データーシート
(EC) 1907/2006

印刷日: 2025.03.13　バージョン番号: 5.01　改訂日: 2025.03.13

(4ページの続き)

PBT(残留性、生物濃縮性、毒性物質)及びvPvB(高残留性、高生物濃縮性物質)アセスメント
PBT (残留性、生物濃縮性、毒性物質): 情報なし
vPvB (高残留性、高生物濃縮性物質): 情報なし
他の副作用 追加的な関連情報は得られていません。

13 廃棄上の注意

廃棄物処理方法
勧告:
関係当局の規則に従って処分する
地元の業者の基準に基づいて保管してください。処分する前に再利用(リサイクル)することをお勧めします。保管する場合、粉塵の発生を防止するため、密閉できる容器に保管してください。

洗浄されていないパッケージ:
勧告:
関係当局の規則に従って処分する
空の容器は地元のリサイクル、廃棄物処理業者に引き渡してください。
注意: ビッグバッグを折り畳む際、粉塵が発生する可能性があります。適切な作業防護具の着用をお勧めします。

14 輸送上の注意

UN 番号 **ADR/RID/ADN, IMDG, IATA**	非該当
国連出荷正式名 **ADR/RID/ADN, IMDG, IATA**	非該当
輸送の危険性クラス **ADR/RID/ADN, ADN, IMDG, IATA** **分類**	非該当
パッケージの分類 **ADR/RID/ADN, IMDG, IATA**	非該当
環境危険:	情報なし
ユーザー用特別予防措置	情報なし
UN "模範規制:	非該当

15 適用法令

国内規定:

使用上の制約に関する注意事項:
妊婦および授乳中の母親は雇用規定を遵守すること
青少年の雇用規定を遵守すること
化学物質の安全性評価: 化学物質安全性評価が遂行されていない

16 その他の情報

この情報は現在の我々の認識に基づいている。ただし、プロダクトの特性を保証するものではなく、また契約において法的根拠にはならない

問い合わ先:
縮約と二文字語:
NOEL = No Observed Effect Level
NOEC = No Observed Effect Concentration
LC = letal Concentration
EC50 = half maximal effective concentration
log POW = Octanol / water partition coefficient
GHS: Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals
ATE: acute toxicity estimate
ADR: Accord relatif au transport international des marchandises dangereuses par route (European Agreement Concerning the International Carriage of Dangerous Goods by Road)

(6ページに続く)

製品安全データーシート
(EC) 1907/2006

印刷日: 2025.03.13　　バージョン番号: 5.01　　改訂日: 2025.03.13

(5ページの続き)

IMDG: International Maritime Code for Dangerous Goods
IATA: International Air Transport Association
EINECS: European Inventory of Existing Commercial Chemical Substances
CAS: Chemical Abstracts Service (division of the American Chemical Society)
LC50: Lethal concentration, 50 percent
LD50: Lethal dose, 50 percent
IOELV = indicative occupational exposure limit values
*** 前の版からデータを変更**